

表1 企画提案書の審査項目、基準及び内容

書類審査						
審査項目		審査基準及び内容		配点		
1 予定技術者の能力	管理技術者	<ul style="list-style-type: none"> 配置技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容 ○相応しい資格の例 <ul style="list-style-type: none"> ①特に相応しい資格 <ul style="list-style-type: none"> ・技術士（総合技術監理部門（建設—都市及び地方計画）） ・特別上級土木技術者（流域・都市、調査・計画、設計、総合） ・再開発コーディネーター ②相応しい資格 <ul style="list-style-type: none"> ・技術士（建設部門：都市及び地方計画） ・RCCM（都市計画及び地方計画） ・再開発プランナー 	管理技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容	5		
	担当技術者		担当技術者が有する技術者資格及びその専門分野の内容	5		
2 業務実績	管理技術者	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務と同種又は類似業務の実績があるか ・業務を遂行するにあたり有益な知見があると判断できるか ・本業務の成果への反映が期待できるか 	過去に同種又は類似業務の実績において優秀な成果となっているか	3		
	担当技術者		過去5年間（平成27年4月以降に完了した業務）の同種又は類似業務の実績	3		
	会社			3		
	合意形成者		過去の同種又は類似業務の主担当としての実績数 地域連携コーディネート、企画運営コーディネート	5		
3 業務体制及び実施方針及び工程表	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を適切に実施できる人員の確保と迅速柔軟に対応できる体制 ・責任の所在や役割分担が明確である体制 ・目的、条件、内容等を理解し、的確な実施方針を立てているか ・地域の実情を把握した上で、業務の円滑な実施に関する提案であるか ・業務量の把握状況を示す工程計画であるか ・実施手順と工程計画が整合されているか 	配置技術者の責任所在や役割分担と社内フォローアップ体制 共同体、協力会社との業務の内容及び範囲の予定	3		
	実施方針・工程表		配置技術者の責任所在や役割分担と社内フォローアップ体制 共同体、協力会社との業務の内容及び範囲の予定	3		
合 計				33		
企画提案審査						
審査項目		審査基準及び内容		配点		
4 提案	前提条件の整理と課題の抽出	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークアブル推進事業との類似事例の収集を行った上、アンケートやヒアリングを通じた必要と考えられる市民ニーズ調査を行う。 ・一宮駅周辺の人の位置情報、検索履歴、SNS等を利用したビッグデータ等（データの種別は問わず）の客観的データに基づく概括的な人流分析を行い、潜在的ニーズ調査を行う。 ・上記を整理し、駅周辺における課題を分析する。 	（共通する重要な観点や配慮事項） （1） 地域特性を活かした個性ある都市デザイン （2） 多様な空間の使い方・用途を許容するまちなみのデザイン （3） そこにとどまりたくなくなるような開かれた空間デザイン （4） 夜も歩きたくなる夜間景観の創出 （5） 多様なユーザーの居心地の良さに着目した公共空間デザイン （6） 人々が滞在・交流できる街路空間への転換 （7） 「人」、「モノ」、「情報」の交流ができる良好な空間形成 （8） 低層部がまちに開かれたまちなみ景観の形成 （9） 歩行者を中心とした公共空間の創出 （10） リノベーションや小規模な建替え、コンテンツの創出等を含めたまちなかの改修 （11） 民間空地等の利活用促進 （12） 季節行事、まつりなどの地元イベントや地場産業との協調 （13） SDGsへの取り組み （14） 新しい生活様式やアフターコロナなど新しい趨勢との柔軟な調和	（評価方法） ①的確性・信頼性 ・地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い ・着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されている ②実現性・確実性 ・利用しようとする技術基準、資料が適切 ③独創性・多様性 ・従来の考え方に捉われない新しい知見や多様性に富む ・周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法		
	地域や民意との社会的合意形成へのコーディネート				<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査や人流解析結果等により得られた課題を地元と意見交換を行い、具体的な要望や民意を把握し、合意形成を図る。 ・社会的合意形成へのコーディネートは、受注者が主導的に立案及び実施する。 	20
	基本構想のコンセプト・テーマ設定				<ul style="list-style-type: none"> ・基礎資料や民意等を踏まえ、都市の多様性とイノベーションを創出できるウォークアブル空間再編に関する基本構想を策定する。基本構想は概括的なコンセプト（テーマ）を設定することとし、一般的に広く理解を得ていくためのイメージ図等を用いた資料作成を行う。 ・駅ビル、中央図書館、地下駐車場、駅前広場、周辺の都市公園、道路、公共空地などの既存ストックの用途転換を含む有効活用が行える構想とする。 ・次の項目について、一つ以上は含む構想とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化、防災、コンパクトシティ、フルモール、セミモール、トランジットモール化などの防災や交通安全の観点を取り入れた構想とする。 ・ソサエティ5.0を具現化するスマートシティ・スーパーシティなど、新技術を活用したまちづくりからの観点を取り入れた構想とする。 ・PFI、包括的管理など効果的かつ持続可能な維持管理の観点を取り入れた構想とする。 ・樹木、芝生や水を活かした都市空間の形成を図り、緑の持つ多面的機能を活用したグリーンインフラの観点を取り入れた構想とする。 	20
	自由提案事項				<ul style="list-style-type: none"> ・各種行政計画で示す当該地区のまちづくり方針を参考にしつつ、公共空間がさらに魅力を増すような自由な発想を求める。 ・地元の機運高め方や職員の機運や体制に対する自由な発想を求める。 	7
5 見積	業務コストの妥当性	提示した業務規模と大きくかけ離れているか、または提案内容に対して見積が不適切な場合には無効とする。		-		
合 計				67		
総 合 計				100		